

【フランス語の特徴】

- (1) 名詞には『性』がある
- (2) 冠詞は3種類
- (3) 形容詞の変化
- (4) 動詞は主語に応じて変化する
- (5) リエゾン・アンシェヌマン・エリズイヨン

(1) 名詞には『性』がある

フランス語の大きな特徴のひとつに「**全ての名詞に性がある**」ことがあげられます。

例えば、

avion [avjɔ̃] : 飛行機 (男性名詞)

chaise [ʁez] : いす (女性名詞)

などのように、全ての名詞に**男性**か**女性**の性をもっています。「飛行機は男の子っぽい」、「いすは女性っぽい」とかいうような理由で性別が決まっている訳ではなく、なぜその性なのかは「その性に決められているから」としか言いようがありません。

そして、この性によってこの後の説明にある「冠詞」や「形容詞」が変化します。

これは単語ごとに記憶していくしかありませんが、使っていくうちに自然と覚えて行けると思います。

【例】

男性名詞			女性名詞		
père	[per]	父	mère	[mer]	母
frère	[frer]	兄弟	sœur	[sœr]	姉妹
café	[kafe]	コーヒー	eau	[o]	水
hôtel	[otel]	ホテル	gare	[gar]	駅

(2) 冠詞は3種類

フランス語にも英語の「The, a」にあたる冠詞があり、名詞の「性・数」に応じて冠詞が変わります。男性名詞には「**男性形**」、女性名詞には「**女性形**」、複数名詞には「**複数形**」の冠詞がつきます。

そして、

会話の中で初めて登場する名詞に「**不定冠詞**」

特定化された名詞につく「**定冠詞**」

数えられない名詞につく「**部分冠詞**」があります。

●不定冠詞

男性名詞	un [œ̃]	アン	un homme	1人の男性
女性名詞	une [yn]	ユヌ	une femme	1人の女性
複数名詞	des [de]	デ	des enfants	何人かの子供達

●定冠詞

男性名詞	le [lə]	ル	J'aime le cinéma.	私は映画が好きです。
女性名詞	la [la]	ラ	J'aime la musique.	私は音楽が好きです。
複数名詞	les [le]	レ	J'aime les chiens.	私は犬が好きです。

●部分冠詞 ※数えられない名詞に対し「いくらかの量」を表す冠詞。食べ物・飲み物はこの部分冠詞が該当します。

男性名詞	du [dy]	デュ	Je bois du vin rouge.	私は赤ワインを飲みます。
女性名詞	de la [dəla]	ドゥラ	Je mange de la salade.	私はサラダを食べます。

(3) 形容詞の変化

形容詞も名詞の「性・数」に応じて変化します。

原則として、男性形の形容詞を女性形に変化させる場合、語末に「e」を、単数形の名詞や形容詞を複数形にする場合は「s」をつけます。複数形に「s」がつくのは英語と同じですね。

また、形容詞は原則として名詞の後につきます。

【例】

男	un+単数名詞+単数形容詞	un pantalon noir. [œ pɑtalɔ̃ nwar]	黒いズボン
性	des+複数名詞+複数形容詞	des chaussures noires. [de ʃosyr nwar]	黒い靴
女	une+単数名詞+単数形容詞	une voiture noire. [yn vwatyʁ nwar]	黒い車
性	des+複数名詞+複数形容詞	des jupes noires. [de ʒyp nwar]	黒いスカート

※「車」という男性っぽい名詞でも女性名詞なんです。

(4) 動詞は主語に応じて変化する。

フランス語では全ての動詞が主語に応じて変化します。全てを覚えるのは確かに大変ですが、規則性があるものが多いので、それに従いながら沢山話して慣れましょう。

【例】規則動詞：parler [parle] (話す)

	単数形	複数形
一人称	je parle ~ 私は～話す [ʒə parle] ジュ パルル	nous parlons ~ 私たちは～話す [nu parlɔ̃] ヌ パルロン
二人称	tu parles ~ あなたは～話す [ty parl] テュ パルル	vous parlez ~ あなた達は～話す [vu parle] ヴ パルレ
三人称	il parle ~ 彼は～話す [il parl] イル パルル	ils parlent ~ 彼らは～話す [il parl] イル パルル
	elle parle ~ 彼女は～話す [el parl] エル パルル	elles parlent ~ 彼女達は～話す [el parl] エル パルル

【例文】

Il parle anglais. 彼は英語を話します。
(anglais [ɑ̃glɛ]=英語)

【例】不規則動詞：être [etr] (～です)

	単数形	複数形
一人称	je suis ~ 私は～です [ʒə sui] ジュ スエイ	nous sommes ~ 私たちは～です [nu sɔm] ヌ ソム
二人称	tu es ~ あなたは～です [ty ɛ] テュ エ	vous êtes ~ あなた達は～です [vu zɛt] ヴ ゼット
三人称	il est ~ 彼は～です [il ɛ] イレ	ils sont ~ 彼らは～です [il sɔ̃] イソン
	elle est ~ 彼女は～です [el ɛ] エルレ	elles sont ~ 彼女達は～です [el sɔ̃] エルソン

【例文】

Je suis Japonaise. 私は日本人(女性)です。
(男性は「Japonais」)

(5) リエゾン・アンシェヌマン・エリズィヨン

フランス語は「母音が連続することを嫌います」。母音が続くと発音がしづらいためでしょう。そこで、この3つの「リエゾン・アンシェヌマン・エリズィヨン」が行われることにより、フランス語の音は「滑らかで流れる」ようになります。

講師と沢山話し、聞くことによってコツを掴み、あのフランス語独特の発音をマスターしましょう。

①リエゾン : liaison

先行する単語の語尾が「発音しない子音」で終わり、次の単語が「母音（または無音のh）」で始まる時、その子音と母音（またはh）をつなげて発音します。（語尾の子音を発音して次の母音とつなげます）

【例】

des enfants.	[de ɑ̃fɑ̃] → [dezɑ̃fɑ̃]	何人かの子供達。
comment allez vous?	[kɔmɑ̃ ale vu] → [kɔmɑ̃talevu]	お元気ですか？
il a trois ans.	[il a trwa ɑ̃] → [ilatrwazɑ̃]	彼は3歳です。

②アンシェヌマン : enchaînement

語尾の子音でも「c, r, f, l」は発音されることが多いのですが、この発音される子音と次の単語の母音（または無音のh）をつなげて発音することを「アンシェヌマン」といいます。また、先行する単語の語尾が「無音のe」の場合も同様です。

【例】

sac à main.	[sak a mɛ̃] → [sakamɛ̃]	ハンドバッグ。
quel âge avez-vous?	[kɛl aʒ ave vu] → [kɛlaʒa ve vu]	あなたは何歳ですか？
elle habite à Paris.	[ɛl abite a pari] → [ɛlabita pari]	彼女はパリに住んでいます。

③エリズィヨン : élision

先行する単語の語尾が母音「a, e, i」で終わり、次に続く単語の最初が「母音（または無音のh）」で始まる時、前の母音がアポストロフィ（'）によって省略され、2つの単語がつながることをいいます。（'）は無視して1つの単語として発音します。

【例】

Je me appelle Yuka. → Je m'appelle Yuka.	[ʒəmapel yuka]	私の名前はユカです。
Ce est quand? → C'est quand?	[sekɑ̃]	それはいつですか？
Je adore Paris. → J'adore Paris.	[ʒadɔr pari]	私はパリが大好きです。